

実験で使うとこだけ生物統計

書籍概要

本シリーズは **第1巻「キホンのキ」** **第2巻「キホンのホン」** の
2冊から構成されています。

第1巻では

→ 検定前の心構えから有意差の意味までを解説しています。

→ まずは統計の基礎を固めたい方、統計は学習したがいまひとつピンときていない方は、本書をお読みください

第2巻では

→ 2群の比較から多重比較、分散分析までを解説しています。

→ 第1巻を読み検定法を学びたくてうずうずしている方、基礎は完璧ですぐにでも実際の検定法を知りたい方は、第2巻をお読みください

2冊を読むことで研究に必要な検定がマスターできる内容になっていますが、各巻ごとで完結していますので、皆さまの研究の状況や必要に応じてご活用ください！

第2巻の内容

本書で解説する内容

- 1巻 本書を読む前に
- 2巻 検定前の「研究者としての心構え」
- 3巻 標準偏差 (SD) と標準誤差 (SE) の違い
- 4巻 パラメトリック検定とノンパラメトリック検定
- 5巻 有意差があるとは
- 6巻 2群の実験の検定法
- 7巻 3群以上の実験の検定法
- 8巻 二元配置分散分析の使い方